

車体 解体マニュアル

仕 様 : 移動図書館車

用途区分 :

車名型式 :

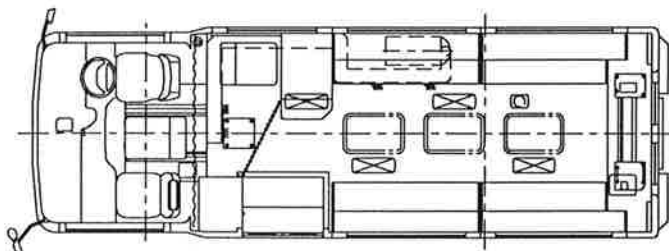
製造年月 : 2004 年 4 月

車体製造会社	(株)林田製作所
担 当	
連 絡 先	048-683-2250

■本マニュアルは、移動図書館車を解体する際の留意点、解体手順を記載したものです。

車両を解体する際の留意点

1. 本車両は、トラックのキャブ付シャシに鉄製骨格、鋼板でバス型ボディを架装したものです。
シャシと車体の結合は、基本的に溶接構造となっていますので、切断機等の器具による解体作業となります。
2. 取外し、解体した部品については、鉄・アルミ・ステンレス・樹脂(FRP、PP等)・ゴム類・木材・配線材等、材質別に分類し、適正な処理を行って下さい。
3. 取り外したビス、ボルト類は、必ずまとめて、適正な処理を行って下さい。



！ 注意

- ビス、ボルト類は、表面処理材に六価クロムが含有されている場合があります。

4. 本マニュアルは図書館車の車体の解体手順について記述したものです。
架装ベース車のシャシ関係、車両に取り付けられている架装部品につきましては、ボディより取外した後各シャシメーカー、部品メーカー等の指示により、解体、廃棄を行って下さい。

[主なシャシ部品]

・シャシフレーム ・原動機(補機類含む) ・動力伝達装置 ・走行装置 ・制動装置	・緩衝装置 ・運転装置 ・キャブ部品 ・D/P席シート ・インストルメントパネル	・バッテリー ・灯火関係部品 ・ECU ・その他シャシ電装部品 ・油脂関係
--	--	---

[主な架装部品]

品 目	メーカー(代理店)	品 目	メーカー(代理店)
・DCエアコン ・ヒーター ・天井換気扇 ・蛍光灯	本体、又は取扱書に記載してあります	・充電器 ・バスシート ・扇風機 ・書架	本体、又は取扱書に記載してあります

移動図書館車の解体手順

■車両解体の際には、まず以下のものについて抜き取りを行い、それぞれ決められた方法での処理を実施して下さい。

- エンジンオイル ●ブレーキオイル ●冷却水 ●クーラー冷媒(純正クーラー・バスクーラー)

1. 車両に取り付けられている機器、部品の取外し

- ① 前頁リストに記載ある機器、部品関係を取り外して下さい。(主にビス・ボルト固定)
取外し後の廃棄方法などにつきましては、各部品のメーカーにお問い合わせ下さい。
- ② クーラーを取り外す際は、必ず事前に冷媒の抜き取り処理を実施して下さい。
- ③ ヒーターを取り外す際は、事前に冷却水の抜き取り作業を実施して下さい。

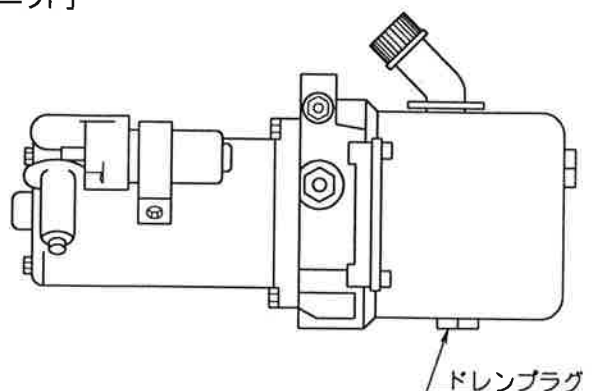
2.外装部品の取外し

- ① 外装トリム、モール、化粧板を取外して下さい(挟み込み、接着固定)
- ② ワイパー、サイドミラーを取外して下さい(ビス・ボルト固定)
- ③ リヤ天幕、天幕カバー、手摺棒を取外して下さい(ボルト・リベット固定)
- ④ FRバンパー、RRバンパーを取外して下さい(ボルト固定)
- ⑤ FRリッドを取外した後(ビス固定)、ラジエターグリル(FRP)は鉄部と分離して下さい(ボルト固定)
- ⑥ フロント廻り、リヤ廻りの灯火類(ヘッドランプ、テールランプ等)を取外して下さい。
- ⑦ FRガラス、RRガラス、サイド窓サッシュを取外した後、サッシュは枠部とガラスに分離して下さい。
- ⑧ サイドスカートリッドを取外して下さい(ボルト固定)
※ ブッシュロックの無い部分については、スカート下端裏側でボルト固定されています。
- ⑨ 運転席ドア、助手席ドア、書架扉、バックドア、サイド2枚折扉を取外して下さい(ヒンジ部ボルト固定)
ドアはロック、ヒンジ等の機能部品、他ガラス、ゴム等素材別で分離して下さい。
- ⑩ コードリール、燃料タンク、後部乗降ステップ等、床下架装物を取外して下さい(ビス・ボルト固定)
※ 燃料タンクは内部に軽油、ガソリンが残存していますので十分注意して扱して下さい。

3.内装部品の取外し

- ① 乗務員室の座席、後部室のベンチシート、跳ね上げ席を取外して下さい。
- ② 乗務員室カーペット、カーテン等、室内装飾品を取外して下さい(ホック止)
- ③ 木製書架を取外して下さい(ビス固定)
※ 上面テーブル状の家具はまず天板のみ取外し、ビスを外した後パール等用いて解体して下さい。
- ④ 座席横アームレスト、シートベルト、パッド等取外して下さい(ビス、ボルト固定)
- ⑤ 中仕切りカーテンを取外して下さい(レール・ビス固定)
※ レールのビスを外し、レールを取外して下さい。カーテンとレールは別処理して下さい。
- ⑥ ベンチシートのベースフレームを取外して下さい(ボルト固定)
- ⑦ 側面、天井、内板を取外して下さい(ビス・接着固定)
※ 内板は1部シール材により接着されています。パール等により剥がして下さい。
- ⑧ 内／外板間、間仕切骨格内のガラスウール、発泡スチロールを取外して下さい。
- ⑨ 内／外板間、間仕切骨格内の配線材を抜き取って下さい。
- ⑩ 間仕切骨格の解体を行って下さい(床面ボルト固定、側面 天井溶接固定)
※ 床面のボルトを外した後、サンダー、ハンマー等で周囲の溶接部を外し、切断機等で解体して下さい。
- ⑪ 乗務員室部のエンジン、ミッション点検蓋を取外して下さい(ボルト固定)
- ⑫ 床ベニヤを剥がして下さい(ビス、接着固定)
※ まず上面に接着されている塩ビ材を剥がした後、ビスを外しパール等で剥がして下さい。
- ⑬ リフト取付車の場合はリフトの取外し作業を行って下さい。(ボルト固定)
※ パワーユニット下部のドレンプラグを外し、オイルを全部抜き取った後、床面のボルトを外し本体を取り出して下さい。

[パワーユニット]



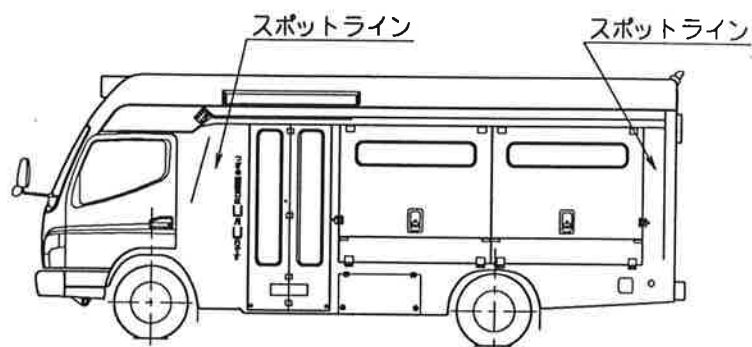
4. ボディ外板のバラシ

■ 本車両の外板は基本的にスポット溶接、1部溶接付で、骨格材に固定されています

■ スポット溶接は、各ゾーンの鉄板周囲施工されており、その他の部分はリベットにて骨格に接着されています。

- ① スポット溶接部の取外し：外面よりスポットの打点を探し、8mm程度の錐で穴を開けて下さい。
※ 打点が見つけない場合は、各ゾーン鉄板の周囲をサンダーで塗装を剥がし確認して下さい。
- ② 溶接部の取外し：サンダーで削って下さい。
- ③ シール接着部の剥がし：車体内部よりシールをカッターで切った後、パール等で剥がして下さい。
- ④ リベットの取外し：サンダーで削って下さい。又は穴を開けて下さい。

〔車体の主な
スポットライン〕



5. 車体骨格の解体

■ 本車体の骨格は、前構体、後構体、天井構体、側面左右構体、床構体とパネル方式にて構成されています。

■ 上記各構体の接合は溶接で施工されています。

■ 解体の際はパネル間の接合部の取り外し、又は付近の骨格を切断することで、パネル単位でのバラシを行った後、廃棄可能な状態に裁断して下さい。

■ 各パネルを取外す際は、必ずクレーン等を使用し、吊り上げた状態で行って下さい。
(クレーン吊り上げ能力：1000kg以上)

- ① 天井構体を取外して下さい。
※ 天井構体は前、後、左右側面構体と溶接で接合されています。
- ② 前構体を取外して下さい。
※ 前構体は天井、側面構体の前端部及びフレームの前端部に溶接接合されています。
- ③ 後構体を取外して下さい。
※ 後構体は天井、側面構体の後端部及び床構体の後端部に溶接接合されています。
- ④ 左右側面構体を取外して下さい。
※ 側面構体は床構体の根太先端部及びクロスメンバーと溶接接合されています。
- ⑤ 床構体を取外して下さい。
※ 床構体はキャブフロア立上がり材及びクロスメンバーと溶接接合されています。
- ⑥ クロスメンバーを取外して下さい。
※ クロスメンバーは、フレームに溶接接合されています。

〔車体骨格解体後〕

